

日本スポーツ法学会 会報 第56号

2021年(令和3年)6月22日

日本スポーツ法学会事務局

〒104-0061

東京都中央区銀座1丁目16番7号
銀座大栄ビル7階 京橋法律事務所内

TEL: 03-6228-7534 FAX: 03-6228-7535

E-MAIL: info.jsla@gmail.com

WEB (http://jsla.gr.jp)

発行人 齋藤健司

編集人 山崎卓也

副会長 挨拶

桂 充弘(弁護士)

コロナ禍の下、スポーツ界の更なる飛躍へ向けて

コロナ禍の中、東京オリンピック・パラリンピックは、一年開催を延期する決定がなされ、今年の夏の開催を目指すこととなりました。しかし現時点(この挨拶原稿は4月の末に書いています)では収束の兆しはまだ見えていません。それどころか4月の末には三度目の緊急事態宣言がなされ、ワクチンも打ち始めたばかりで、今年の夏に本当に開催できるのか?開催自体も怪しい雲行きになってきています。

スポーツに係る多くのアスリート達だけでなく、関係者の多くが開催を熱望する一方で、このコロナ禍の中、多くの方が活動自粛を強いられており、何故スポーツだけが例外となるのか?といった疑問も出されています。

「コロナを克服した証」としての東京オリパラはどの間に合いそうもなく、大会の縮小や中止等、その内容は、初期の想定からは大きく変更することを余儀なくされ、厳しい決断を迫られています。

このような予想外の延期や中止の恐れといった事態を生じ、そもそも開催すべきか否か?代表選考をどのように行なうのか?延期や中止の場合の各種費用負担やスポンサーの支払い・返還といった法的リスクは誰が負担するべきなのか?といったことをはじめとして、数々の法的課題が生じてきており、当学会の責務も重要性を増しています。

さらに、そんな中、東京オリパラの責任者から女性差別発言が飛び出し、この国の統治機構・スポーツ界の人権感覚やガバナンス・コンプライアンスの問題点

をはからずも全世界に大きくクローズアップさせることとなりました。

我が国のスポーツ界の役員構成をみれば一目瞭然のように、ジェンダーバランスは程遠く、この分野でも当学会が果たすべき責務は重大であり、当学会として何ができるのか?その具体策については日本スポーツとジェンダー学会とも連携をとりながら早急に活動を深めていく予定です。

もっとも、翻って当学会のジェンダーバランスはどうか?コンプライアンスはどうか?といった面で見直すと、はなはだ心もとないのが現実です。多くの学会員のご協力を得て作成されたガバナンスコードでは、女性理事の数を増やすことや、役員選考手続きの明確化等をスポーツ団体に求めながら、他方で、当学会の役員・会員構成や役員選考手続等をみると、残念ながら女性役員・会員の数は少なく、また、役員選任手続き等の各種規定も必ずしも明確ではありません。

これらの点につきましては、現在役員・事務局で全体的な見直しを進めています。女性会員や女性役員が少ない原因はどこにあるのか?具体的に女性会員や女性役員を増やすためにどのような施策が必要なのか?正にスポーツ団体が今抱える課題についての具体的な解決策を当学会が率先して示せるかどうか、当学会の真価が問われるところです。

また、今年はスポーツ界を大きく変革することを期待して策定されたスポーツ基本法が成立・施行されて10年となる年です。東京オリパラの開催がどのような結果になろうとも、スポーツ権が明記された10年前の高揚感を忘れずに、スポーツ権の充実へ向けて、制定後明らかとなった基本法の問題点を洗い直し、更なる飛躍へ向けた改正点をしっかりと提示する作業を進めていかなければなりません。会員の皆様が多方面でご活躍される姿を色々な場面で拝見し心強く感じていますが、会員の皆様の更なるご活躍を期待すると共に積極的なご意見をお願い致します。

第28回学会大会 報告

2020年12月19日（土）、第28回学会大会がZoomを利用する完全オンライン方式で開催された。本年は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、実地会場を使用しない完全オンライン方式という異例の形での学会大会となった。

今大会は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響で2020年に開催予定だった東京オリンピック・パラリンピックが延期されたことに焦点を当て、『オリンピック・パラリンピックの法的課題～延期を経てさらに見えてきた「スポーツ」と「法」の現在地～』というテーマが設定された。

午前中はZoomミーティング方式で計6題の自由研究発表が行われ、午後は総会に続いてシンポジウムが開催された。シンポジウムでは、海外から招いたスピーカーによる基調講演に続いて4名のスピーカーから4つの個別報告があり、その後は報告を行ったスピーカーらによるパネルディスカッション及びQ&Aセッションが展開された。

最初に、Mark James教授（マンチェスター・メトロポリタン大学）により、「アスリートの行動をどうコントロールするのか～五輪憲章のルール50とAthletes Activism～」というタイトルで基調講演が行われた。James教授はスポーツ法、とりわけオリンピック関連法のエキスパートとして世界的に名高い研究者である。James教授の講演は英語で行われ、事前に収録されたビデオに日本語字幕を付して上映された。今回の講演では五輪憲章の基本的なルールなどを踏まえてアスリートの行動について緻密な検討がなされ、約50分間に及ぶ力強いスピーチを終えた。

次に、4名のスピーカーから4つの個別報告が行われた。1人目の中村祐司会員（宇都宮大学）からは、「メガ・スポーツイベントの虚と実」というタイトルで報告がなされた。中村会員は、巨大スポーツイベントを題材として約20分間にわたりその課題等について詳細な検討を行った。

2人目のCaroline McGrory氏（コモンウェルスゲームズ2022組織委員会／英国スポーツ法学会会員）からは、「メガ・スポーツイベント『コモンウェルスゲームズ』が抱える法的問題」というタイトルで報告がなされた。コモンウェルスゲームズは、イギリス連邦に属する国や地域が参加して4年ごとに開催される総合競技大会である。McGrory氏は、メガ・スポーツイベントを実際に組織する立場から、その法的問題について指摘を行った。

3人目の杉山翔一会員（Field-R法律事務所）は、「東京五輪を取り巻く人権ムーブメントとAthletes Activismの今」と題して、東京オリンピックを題材として昨今の人権問題や社会的運動に関する報告を行った。

4人目の来田享子会員（中京大学）からは、「Inclusiveであるべき五輪の今とジェンダー」と題して、現代のオリンピックのあるべき姿についてジェンダーの観点から示唆に富む指摘がなされた。

そして、個別報告の後は、中村会員、来田会員、杉山会員が引き続きパネリストとして登壇してパネルディスカッションが行われた。「2021年の“Tokyo2020”のあるべき姿とスポーツ法の役割」と題する今回のディスカッションでは、延期された東京オリンピック・パラリンピックを題材とし、ファシリテーターを務めた山崎卓也会員も交えて、スポーツ法の果たす役割について活発な議論が行われた。

最後に、基調講演ご担当のMark James教授にも登場していただき、石堂典秀会員の司会進行のもとでパネリストを交えたQ&Aセッションが開催された。

今回の学会大会はコロナ禍の影響により完全オンライン方式という異例の形での開催となったが、大会はつつがなく進行し、盛会のうちに終了した。

（文責：中嶋翼）

夏期合同研究会のお知らせ

テーマ：「スポーツにおける連帯責任」（仮題）

日 時：2021年7月3日（土）午後1時～4時30分

開催方法：完全オンライン（Zoomウェビナー）

申込方法：Googleフォームによる申込み（メーリングリストでご案内）

参加対象：日本スポーツ法学会会員

会 費：無料

内 容：

開会挨拶

研究発表

・山田尚史会員（大阪弁護士会）

・倉本武任会員（大阪弁護士会）

基調講演

・石堂典秀会員（中京大学スポーツ科学部教授）

パネルディスカッション

・坂房和会員（コーディネーター・大阪弁護士会）

・古結誠会員（コーディネーター・大阪弁護士会）

・石堂典秀会員（中京大学スポーツ科学部教授）

・山本宏樹氏（東京電機大学理工学部共通教育群）

准教授)

・富田宏治氏 (関西学院大学副学長・スポーツ局
局長)

質疑応答
閉会挨拶

理事会議事要録

◆◆◆◆ 2020年 第4回理事会 ◆◆◆◆

日時：2020年9月26日(土) 15:00～17:20

場所：Zoom会議

出席理事：齋藤健司会長、伊東卓副会長、桂充弘副会長、山崎卓也事務局長、石堂典秀、井上圭吾、井上洋一、入澤充、笠井修、川井圭司、合田雄治郎、崔光日、境田正樹、関谷綾子、高松政裕、平井千貴、堀田裕二、松本泰介、水沢利栄、宮島繁成、望月浩一郎、森浩寿、八木由里

委任状提出：中村祐司

出席監事：井口加奈子、上柳敏郎

1. 入退会者について

入会者

- ・山下洋美 (弁護士)
- ・北折明子 ((株) Rainbow 代表取締役)
- ・三輪記子 (弁護士)
- ・野邊健太 (弁護士)
- ・倉本武任 (弁護士)
- ・横山 浩 (弁護士)
- ・石橋将也 (JFA)

退会者

- ・服部光男
- ・金澤昌史 (弁護士)
- ・近藤直生 (弁護士)
- ・石渡進介 (弁護士)
- ・西正一郎 (行政書士)

2. 夏季合同研究会の件 (報告)

2020年7月4日(土)、夏期合同研究会がオンラインによって開催された。オンライン開催は初の試みであったが、アンケートによると概ね好評だった。

3. Woman In Sports Law (WISLaw) との共催カンファレンスについて

2020年7月24日(金)、WISLawとの共催でオン

ラインによるカンファレンスが開催された。当会及びWISLawの会員の他、当会がMOUを締結しているSLAやANZSLAからの参加者もあった。

4. 国士舘大学大学院法学研究科とのスポーツ事故に関する合同シンポジウムについて

2020年10月31日(土)に、スポーツ事故における責任の考え方や、近年の裁判例の動向等をテーマに開催される予定であることが報告された。

5. 2020年学会大会について

2020年12月19日(土)に完全オンライン方式により開催する予定であることが報告された。

自由研究発表については、Webサイトに発表用資料を事前に掲載し、当日午前中に担当者から補足説明を行うという方法により実施することとされた。

6. 当学会のガバナンス整備について

名誉理事との関係で今後の組織運営や情報共有に関して議論された。

7. 日本スポーツ法支援・研究センターからの共催依頼について

毎年日本スポーツ法支援・研究センター等と共催している学校体育・スポーツ事故のシンポジウムが、ヘディングに関連する傷害をテーマに名古屋で開催される見込みであることが報告された。

◆◆◆◆ 2020年 第5回理事会 ◆◆◆◆

日時：2020年10月31日(土) 16:30～18:30

場所：Zoom会議

出席理事：齋藤健司会長、伊東卓副会長、桂充弘副会長、棚村政行副会長、山崎卓也事務局長、石堂典秀、井上圭吾、井上洋一、笠井修、川井圭司、合田雄治郎、関谷綾子、高松政裕、平井千貴、堀田裕二、森浩寿、望月浩一郎、森克己、八木由里

委任状提出：入澤充、崔光日、中村祐司

出席監事：上柳敏郎

1. 入退会者について

入会者

- ・芳中千裕 (学生)
- ・望月宣武 (弁護士)

退会者

- ・前唄 博 (弁護士)
- ・川井浩平 (弁護士)

2. スポーツ契約等研究専門委員会による研究会の件

2020年10月7日（水）、スポーツ契約等研究専門委員会主催で、水戸重之会員によるスポーツとメディアをテーマとした講演会が開催された。引き続き同委員会で研究会に取り組むことが報告された。

3. 2020年学会大会の件

2020年12月19日（土）、「オリンピック・パラリンピックと法に関する諸問題」をテーマに完全オンライン方式で開催する予定であることが報告された。東京オリンピック・パラリンピックが延期になったことを踏まえ、五輪を取り巻く様々な法的課題について、海外のスピーカー等も交えて実施する。

自由研究発表については、6名の応募があり、理事会において審査を行い、発表者を決定した。

4. 新型コロナウイルス感染症がもたらしたスポーツ界への影響と法的課題に関する論点整理について

2020年11月24日（火）、スポーツ基本法研究専門委員会において「新型コロナウイルス感染症がもたらしたスポーツ界への影響と法的課題」をテーマにウェビナーを開催する予定であることが報告された。

5. 国際スポーツ仲裁に関わる人材育成のための企画について

国際スポーツ学術推進委員会において、将来国際スポーツ仲裁の場で活躍できる人材を増やしていくため、海外でCAS仲裁の豊富な経験を持つ者を講師として、CAS仲裁に関する研修会を企画していることが報告された。

6. 日本スポーツ仲裁機構（JSAA）の仲裁法研究会との合同研究について

2021年2月24日（水）18時から、Zoomにて、日本スポーツ仲裁機構との合同研究として、スポーツ仲裁法研究会を開催することが報告された。

16. スポーツ法学教育推進委員会の件（報告）

アンケートの回答率が芳しくないため、再度ML等でアンケート依頼を実施する旨報告された。

7. その他

日本学術会議の会員候補任命拒否問題について意見交換がなされた。

◆◆◆◆ 2020年 第6回理事会 ◆◆◆◆

日時：2020年12月5日（土） 16：00～17：45

場所：Zoom会議

出席理事：齋藤健司会長、伊東卓副会長、桂充弘副会長、棚村政行副会長、山崎卓也事務局長、石堂典秀、井上圭吾、笠井修、川井圭司、合田雄治郎、崔光日、境田正樹、関谷綾子、高松政裕、平井千貴、堀田裕二、水沢利栄、宮島繁成、森浩寿、望月浩一郎、森克己、八木由里

委任状提出：井上洋一、入澤充、中村祐司

出席監事：井口加奈子、上柳敏郎

1. 入退会者について

入会者

・半田 水晶（学生）

・西平桂太郎（学生）

2. 「新型コロナウイルス感染症がもたらしたスポーツ界への影響と法的課題」ウェビナー開催の件

2020年11月24日（火）、スポーツ基本法研究専門委員会の主催でウェビナーが開催され、多数の参加があったことが報告された。

3. 2020年学会大会の件

2020年12月19日（土）に2020年の学会大会が開催されること、午前中の自由研究発表では事前にWeb上で各発表の資料を公開していること、午後の学会大会では、「オリンピック・パラリンピックの法的課題～延期を経てさらに見えてきた『スポーツ』と『法』の現在地～」をテーマに、五輪を取り巻く様々な法的課題を取り上げる予定であることが報告された。

4. 国土館大学大学院法学研究科とのスポーツ事故に関する合同シンポジウムについて

2020年10月31日（土）に実施されたこと、アンケートによると満足度は総じて高く、今後シンポジウムの内容を書籍化することも検討していることが報告された。

5. スポーツにおける子どもの権利確立に関する提言について

提言原案を修正のうえ、総会に提出して審議を受けることとした。

6. 国際スポーツ仲裁に関わる人材育成のための企画の件

国際スポーツ学術推進委員会と紛争解決機関研究専門委員会の共催で、国際スポーツ仲裁に関する知見を高めるための研究会を開催することが報告された。

7. アジアスポーツ法学会の件

2021年秋以降、中国で開催される方向で検討が進んでいるとの報告があった。

8. 研究促進・学会賞の検討の件

若手研究者の研究促進のインセンティブとするため、表彰制度の新設を検討している旨報告された。

9. スポーツ団体ガバナンスコード（一般スポーツ団体向け）に関するアンケート実施検討の件

スポーツ団体に対して、ガバナンスコード（一般スポーツ団体向け）に関するアンケート実施を検討している旨報告がなされ、方法等について議論された。

2021年 組織体制

会長・理事：齋藤 健司（筑波大学）
 副会長・理事：伊東 卓（弁護士）
 桂 充弘（弁護士）
 棚村 政行
 （早稲田大学法学学術院教授・弁護士）
 事務局長・理事：山崎 卓也（弁護士）
 事務局次長・理事：高松 政裕（弁護士）
 事務局次長・理事：堀田 裕二（弁護士）
 事務局次長：飯田 研吾（弁護士）
 理事：石堂 典秀（中京大学スポーツ科学部教授）
 井上 圭吾（弁護士）
 井上 洋一（奈良女子大学研究院生活環境科学系スポーツ健康科学領域教授）
 入澤 充（国士館大学大学院法学研究科法学専攻教授）
 大橋 卓生（弁護士・金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科イノベーションマネジメント専攻教授）
 笠井 修（中央大学大学院法務研究科教授）
 川井 圭司（同志社大学大学院総合政策科学研究科総合政策科学専攻教授）
 合田雄治郎（弁護士）
 崔 光日（尚美学園大学総合政策研究科政

策行政専攻講師）

境田 正樹（弁護士・東京大学理事）
 佐藤 千春（元朝日大学教授・弁護士）
 関谷 綾子（弁護士）
 中村 祐司（宇都宮大学地域創生科学研究科社会デザイン科学専攻教授）
 平井 千貴（公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会）
 松本 泰介（弁護士・早稲田大学スポーツ科学学術院准教授）
 水沢 利栄（福井大学芸術・保健体育教育講座体育学教授）
 宮島 繁成（弁護士）
 望月浩一郎（弁護士）
 森 克己（鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系教授）
 森 浩寿（大東文化大学スポーツ・健康科学部スポーツ科学科教授）

八木 由里（弁護士）

事務局：相川 大輔（弁護士）

阿部新治郎（弁護士）

新井喜代加（松本大学大学院健康科学研究科准教授）

安藤 尚徳（弁護士）

井神 貴仁（弁護士）

伊丹 郁人（弁護士）

太田由希奈（明治神宮外苑アイススケート場）

岡村 英祐（弁護士）

岡本 大典（弁護士）

小野 真清（弁護士）

金刺 廣長（弁護士）

熊谷 耕（エイデル研究所）

櫛田 葉子（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会）

杉山 翔一（弁護士）

多賀 啓（弁護士）

富田 英司（弁護士）

武田丈太郎（北海道教育大学岩見沢校芸術・スポーツビジネス専攻准教授）

中嶋 翼（弁護士）

中田 誠（市民スポーツ&文化研究所）

関 允淑（筑波大学大学院）

山田 尚史（弁護士）

渡邊健太郎（弁護士）

監事：井口加奈子（弁護士）

上柳 敏郎（弁護士）

2021年の予定

1. 学会大会

2021年12月11日（土）オンライン開催
（早稲田大学）

2. 夏期合同研究会

2021年7月3日（土）オンライン開催
（Zoom ウェビナー）

3. 理事会

2021年2月13日（土）オンライン開催
4月24日（土）オンライン開催
7月3日（土）オンライン開催
（夏期合同研究会）
9月25日（土）オンライン開催
10月30日（土）オンライン開催
12月11日（土）オンライン開催
（学会大会）

新入会員

- ・半田 水晶（学生）
- ・西平桂太郎（学生）
（以上、2020年度第6回理事会にて承認）
- ・伊東 晃（弁護士）
- ・古結 誠（弁護士）
- ・安田 健一（弁護士）
（以上、2021年度第1回理事会にて承認）
- ・飯嶋 太郎（弁護士）
- ・手塚 圭祐（弁護士）
（以上、2021年度第2回理事会にて承認）

